

「AI 時代の科学」



略歴

氏名： 桜田 一洋

所属：慶應義塾大学医学部 医学研究科 拡張知能医学講座

1986 年大阪大学理学部生物学科卒業。1988 年大阪大学大学院理学研究科修士課程修了（小川英行教授）。協和発酵（株）東京研究所研究員、京都大学医学部で研究生を務め、1993 年理学博士（大阪大学）を授与。Salk 研究所の客員研究員、協和発酵（株）東京研究所の再生医療担当主任研究員を経て、2004 年にドイツ Schering 社により神戸に新設されたリサーチセンターのセンター長に着任。会社合併に伴い、Bayer Schering Pharma (BSP) ドイツ本社の再生医療本部長ならびにバイエル薬品の執行役員リサーチセンター長を務めた。BSP の戦略変更に伴い神戸リサーチセンターが閉鎖となり、米国シリコンバレーで iZumi Bio 社を立ち上げ、最高科学責任者としてバイエル薬品で開発したヒト iPS 細胞技術を移管。2008 年からソニーコンピュータサイエンス研究所上席研究員として、新たな生命理論と、医学と医療のための AI 技術の開発を開始し、2016 年に理化学研究所で、健康医療領域の予測の科学の開拓をはじめる。2021 年 4 月より理化学研究所 先端データサイエンス プロジェクトのプロジェクトリーダー。同年 10 月より現職。2023 年 10 月から大阪大学ヒューマン・メタバース疾患研究拠点の特任教授を兼務。著書に『亜種の起源 苦しみは波のように』 幻冬舎（2020 年）。

生きがい

おごらず、過度な競争心を持たず、調和を愛し、今ここにいることに喜びを感じ、自然とは何かという問いかから、創造に挑戦し続けること。若い時から、変えることのできないことを静かに受け入れる潔さ、変えるべきことを変える勇気、そして、その両者を区別する知恵を持ちたいと思ってきた。